



北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資料配付

配布日時

令和2年7月6日
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会の総会と第1回定例会議を開催しました — 委員会構成と審議概要を公表します —

(※1)

(※2)

北陸地方整備局入札監視委員会は令和2年度総会に引き続き、第一部会・第二部会の第1回定例会議を6月15日に北陸地方整備局で開催しました。

総会では、委員長、委員長代理、第一部会・第二部会所属委員が選任されました。

その後、各部会の第1回定例会議を開催し、部会長と部会長代理が選任され、部会が抽出した案件の審議を行いました。審議の結果、委員会による意見の具申又は勧告はありませんでした。

※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。

※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそれぞれ審議を行っています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

新潟市中央区美咲町1-1-1(〒950-8801) ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

第一部会 電話025-280-8880(代表)

主任監査官 高井 俊英(会議の運営)

契約管理官 富樫 博人(別紙「1 入札・契約手続きの運用状況」、
「2 抽出事案(役務の提供等及び物品の製造等)」)

技術開発調整官 姫野 芳範(別紙「2 抽出事案(工事)(建設コンサルタント業務等)」)

第二部会 電話025-370-6650(経理調達課)

契約管理官 小澤 辰巳

経理調達課長 柴谷 大介

1 部会の構成は、次のとおりです。

令和2年度 北陸地方整備局入札監視委員会 委員名簿

委員長	おお かわ ひで お 大 川 秀 雄	新潟工科大学 学長
委員長代理	にし かた たい ち 西 方 太 地	公認会計士
第一部会長	おお かわ ひで お 大 川 秀 雄	新潟工科大学 学長
第一部会長代理	ほそやまだ とく ぞう 細山田 得 三	長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻
第一部会委員	うえ むら みやこ 上 村 都	新潟大学 法学部 教授
第一部会委員	さ とう あや こ 佐 藤 綾 子	富山国際大学 現代社会学部 准教授
第一部会委員	ひら いし ひろ か 平 石 広 佳	弁 護 士
第二部会長	にし かた たい ち 西 方 太 地	公認会計士
第二部会長代理	い とう ひで お 伊 藤 秀 夫	弁 護 士
第二部会委員	みち がみ ま ゆ 道 上 真 有	新潟大学 経済学部 准教授

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第1回定例会議） 審議概要

開催日及び場所	令和2年6月15日（月） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 （部会委員 5名）	部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻） 委員 上村 都（新潟大学 法学部 教授） 委員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 平石 広佳（弁護士）					
審議対象期間	令和元年10月1日～令和2年3月31日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 入札談合に関する情報等への対応状況 (4) 再度入札における一位不調状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況 (9) 有資格業者登録状況					
審議事項	2 抽出事案10件（工事7件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額（千円）	入札者数
工 事	一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外）	有間川橋架替迂回路仮橋工事	（株）高館組	R1.10.4	219,340	1
		馬取沢砂防堰堤流路工設置工事	（株）巴山組	R1.12.23	112,200	1
		R1-4小黒部谷第2号砂防堰堤工事	大高建設（株）	R1.11.1	281,600	1
		R1金沢地区除雪作業	北川ヒューテック（株）	R1.10.3	13,805	1
		R元村上瀬波温泉IC防災その2工事	（株）加藤組	R2.3.9	170,500	1
指名競争入札方式	令和元年度長岡除雪基地新築工事	寺泊産業（株）	R1.11.6	242,880	7	
随意契約方式	令和元年台風19号長野市穂保緊急復旧工事上流工区	大成建設（株）	R2.1.29	655,820	1	
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）	令和元年度大沢野富山南道路（岩木新地区他）道路詳細設計業務	（株）日本海コンサルタント	R1.10.29	65,450	2
	簡易公募型プロポーザル方式	令和元年度北陸地方整備局管内冬期道路気象予測配信業務	（一財）日本気象協会	R1.10.18	31,130	2
役務の提供等及び物品の製造等	一般競争入札方式	令和元年度道路交通情報通信システム運用定数作成登録作業	沖電気工業（株）	R1.10.16	147,950	1
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
（問い合わせ先） 新潟市中央区美咲町1-1-1（〒950-8801） 電話025-280-8880（代表） ホームページ http://www.hrr.mlit.go.jp 北陸地方整備局入札監視委員会事務局 主任監査官 高井 俊英（会議の運営） 契約管理官 富樫 博人（別紙「1 入札・契約手続きの運用状況」、「2 抽出事案（役務の提供等及び物品の製造等）」） 技術開発調整官 姫野 芳範（別紙「2 抽出事案（工事）（建設コンサルタント業務等）」）						

意見・質問	回答
<p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>(1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の契約件数について、最近の状況、トレンドの変化等があれば教えていただきたい。 ・最近の対策として、コロナウィルスの関係で入札のプロセスに変化が見られるのか、教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同時期と比較しますと、工事では1.6倍、コンサルタント業務では1.4倍の件数となりました。千曲川の被災等の早期復旧のため、補正予算も示達され、工事件数はかなり増えている状況です。 ・入札手続きにおける新型コロナウイルス対策ですが、4月以降様々な対策を行っており、契約事務に関しては、特段影響は出ていません。受注希望者から工事の入札手続きの〆切を延長してほしいなどの申請があった場合には、必要に応じて検討して伸ばすなど、受注希望者側の負担をなるべく軽減して契約行為が滞りなく進むよう工夫しています。対応はしっかりやっているということでご理解いただければと存じます。 なお、工事の中止も一時期話題にはなりましたが、北陸地方ではそれほど中止する案件は出ていませんし、現在止まっている工事もありません。
<p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような工事事故で、「不正または不誠実な行為」ということで指名停止になっている事案がありますが、ベルトコンベアに巻き込まれた事故について、「安全管理措置の不適切」としていないのは何故ですか。判断の理由について教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の発注工事施工における事故であれば、多くは「安全管理措置の不適切」に該当し、指名停止等を行っているところですが、この事案においては、自社の骨材工場内で発生した事故でした。労働安全衛生法違反であり、指名停止等措置要領に基づき、「不正または不誠実な行為」に該当すると判断をしたものです。
<p>(3) 入札談合に関する情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札心得に反する行為を行った場合に、入札に参加させないことにする判断根拠は、どのようなことなのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争契約入札心得第4条の3において、「入札に当たっては・・・いかなる相談も行ってはならず」との禁止事項を明記しております。また、公正な入札を確保できないと認められる場合には、「当該入札参加者を入札に参加させず」とも明記しており、当該事案では入札に参加させないこととしたものです。

意見・質問	回 答
<p>(4) 再度入札における一位不動状況 ・特になし。</p>	
<p>(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ・特になし</p>	
<p>(6) 一者応札の発生状況 ・特になし。</p>	
<p>(7) 不調・不落の発生状況 ・特になし。</p>	
<p>(8) 高落札率の発生状況 ・特になし。</p>	
<p>(9) 有資格業者登録状況 ・特になし。</p>	
<p>2 抽出事案の審議について (工 事) 1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外) 「有間川橋架替迂回路仮橋工事」 ・技術提案等の評価の加算点について、施工計画が5点と低いのは何故か。また、施工体制台帳等の提出が遅れているのは何故か。 ・新型コロナウイルスの関係で、鋼材をなかなか作ってもらえなかったのでしょうか。</p>	<p>・技術提案に係る施工計画において、現場条件が海に近く風や波浪等の影響があるところですが、そのあたりの記載がなく一般的な内容しか記載されていなかったからです。 また、当該工事は11月からR2年4月まで下部工の鋼材の手配が全国的に厳しいということで中止をかけていました。5月の連休明けから工事を再開したところであり、施工体系図等の提出が遅れていたといった状況です。 ・新型コロナウイルスの影響ということではなく、全国的に部材の調達が遅り手配ができなかったとのことでした。</p>

意見・質問	回 答
<p>「馬取沢砂防堰堤流路工設置工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>「R1-4 小黒部谷第2号砂防堰堤工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>「R1 金沢地区除雪作業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪作業の契約は10月ぐらいだが、雪の多い少ないということで実働により、契約金額の変動はあるのか。 ・降雪の有無にかかわらず待機はあると思いますが、最低限の保障にプラスして雪を動かした実績を支払うと言った様な考え方はないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実働実績の数量出来高によって変動します。昨年度は暖冬であり、数量としては減額となっています。予定価格は過去の実績に基づいて積算し、実績で精算しています。 ・最低限の保障のようなやり方は実施していませんが、待機実績も見込んでいます。雪の量が1/10になったからと言って、支払い分が1/10になるわけではありません。待機実績もお支払いしておりますし、凍結防止剤散布等の作業もありますので、雪の量に比例するものではありません。
<p>「R元村上瀬波温泉IC防災その2工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加業者が1者になっていますが、資格要件によりある程度限定されてしまう気がします。新潟県村上市・新発田地区と限定していますが、領域を広げる判断もあったのではないかとこのところをお聞きかせ下さい。 ・工事の規模も考慮に入れての判断ということはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この予算・規模ですとC等級の企業が実施する工事であり、地域企業の実施しやすい範囲は大体決まっています。この規模の工事の参加資格を新潟全体に広げても他の地域まで来るメリットは少ないと思われ、地域を指定するのが一般的ですが、一者応札に対しては工夫をしなければならないと考えています。 ・工事の規模により地域要件を加えるなどの工夫をしているところです。

意見・質問	回 答
<p>2 指名競争入札方式 「令和元年度長岡除雪基地新築工事」 ・不調・不落の案件で、一般競争入札を2回やってだめで、指名競争入札になる場合もある。一般競争入札1回で指名競争入札にする基準はあるのか。 調査基準価格以下が5者で予定価格内が1者だが、結局6者とも辞退している。特に調査基準価格以下の5者というのは、いわゆる追加資料の提出がなくて辞退になったということですか、そういった者は、もう一回一般競争入札を行うことによって参加する可能性とかはあり得るのか教えてください。</p>	<p>・一般競争から1回で指名競争入札に移った理由には、平成30年度の補正予算で国土強靱化のインフラ整備を年度内に確実に施工したいという事と、年度内に工事を完成させるには再度の一般競争入札を行う期間がとれなかったためです。 入札書を提出した6者のうち、5者は施工体制の追加資料を求める段階で辞退し、予定価格内の1者も技術者の重複があり辞退しました。調査基準価格以下の5者については、再度の一般競争に参加した可能性もありますが、前述のとおり指名競争に移行したものです。 一般競争から指名競争への切り換えは、基本的に2回行うこととしています。一般競争により応札者がいない場合には、諸条件をより緩和するなど工夫して2回目を行い、それから指名競争に移りますが、今回のように、後ろの工期が決まっているなど内容によって1回目で指名競争に移ると言ったこともあり得ます。</p>
<p>3 随意契約方式 「令和元年台風19号長野市穂保緊急復旧工事上流工区」 ・随意契約をされた理由について、協定に基づき対応可能な会員を過去の実績に基づいて紹介してもらおうということなのですが、こういった場合というのは紹介してもらおう会社というのは、特定の1者だけを紹介してもらおうという事になるのかお聞きしたい。</p>	<p>・今般の災害においては、上流部と下流部の二つ工事を出しています。今回は上流工区のご説明をさせていただきました。上流工区と下流工区で一者ずつ出すので、おのおのに該当する最適な者を協会の方からご推薦いただいて、その者と契約したものです。</p>
<p>(建設コンサルタント業務等) 1 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） 「令和元年度大沢野富山南道路（岩木新地区他）道路詳細設計業務」 ・特になし。</p>	

意見・質問	回 答
<p>2 簡易公募型プロポーザル方式 「令和元年度北陸地方整備局管内冬期道路気象予測配信業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書評価点について、参加者2者の過去4年間の実績に点数としては非常に大きな差になっているが、これは過去に実績があったかなかったかそれだけの違いと言うことですか。つまり、実績がないからダメということですか。 ・実績が無いと言うことであれば、今回A者がとるとA者の実績が増えるわけで、B者が今後受注していくというのは非常に難しいというように見えます。新しい会社のようなところが、どうやって入っていくことができるのでしょうか。実績が少ないから、また実績に差が付くのではないのでしょうか。価格ですごく頑張らないとダメだと言うことと裏返し議論ではなかろうかとも思うのですが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去4年間の業務成績の平均でありまして、B者は実績がありませんでした。実績がないので、0点と評価しております。 ・過去の業務成績に関する点数は、実績の平均点で評価をしているので、新たな参加者でも高い点数を持っていれば、高く評価されます。それはプロポーザル方式にかかわらず、いろいろな方式で受注をして業務成績の点数をつけばその点数が評価につながります。どこかで何らかの業務を受注して良い成績を残せば、次回の入札時の評価に反映されるので敷居が高いわけではありません。
<p>(役務の提供等及び物品の製造等)</p> <p>1 一般競争入札方式 「令和元年度道路交通情報通信システム運用定数作成登録作業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

北陸地方整備局入札監視委員会（第二部会第1回定例会議） 審議概要

開催日及び場所		令和2年6月15日（月） 「北陸地方整備局」 （新潟市中央区美咲町1-1-1）	
委員		部会長 西方 太地（公認会計士） 出席 部会長代理 伊藤 秀夫（弁護士） 出席 委員 道上 真有（新潟大学准教授） 出席 部会委員現在数3名 出席3名	
審議対象期間		令和元年10月1日～令和2年3月31日	
抽出案件		総件数 6件	
工事	一般競争入札方式 （WTO対象外）	3件 新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2） 伏木富山港（新湊地区）泊地（-10m）土砂運搬工事 金沢港（大野地区）防波堤（西）（改良）築造工事（その2）	（備考）
	業建設等 コンサルタント	2件 敦賀港港内波浪観測業務 北陸管内設計沖波算定業務	
	役務品及び	1件 白山計画修理工事	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等		意見・質問	回答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

意見・質問	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等】</p> <p>〔入札方式別発注工事等一覧〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔指名停止等の運用状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔談合情報等の対応状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔再度入札における一位不動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低入札となった者の原因がわかるようであれば教えて頂きたい。 <p>〔一者応札の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔不調・不落の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔高落札率の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>【抽出案件】</p> <p>1 工事：港湾等しゅんせつ工事 一般競争入札方式（WTO対象外）</p> <p>「新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者が1者となった要因として考えられることはあるか。 ・ 本来の入札参加資格であるB等級の参加可能見込み者数が9者程度とのことでA等級も参加要件に加えているが、加えた結果、参加要件を満たす者は何者と見込んでいたのか。 ・ 本件と同様の工事は毎年実施しているのか。実施されているのであれば、昨年の入札状況と今年の入札状況、落札率等に変化は見られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてもこの工事を受注したいという意欲からこの価格で入札したものと思われるが、具体的には落札決定の前に追加資料及びヒアリングにより確実な履行が可能か調査を実施して、実施可能と判断したものである。 ・ 作業船の確保や配置予定技術者の確保が困難であったのではないかと考えられる。 ・ 参加要件を満たす者はシミュレーション結果から17者程度と見込んでいた。 ・ 同様の工事は毎年実施している。昨年と入札状況は同じで落札率は異なっている。

意見・質問	回 答
<p>2 工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外）</p> <p>「伏木富山港（新湊地区）泊地（-10m）土砂運搬工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が1者となった要因として考えられることはあるか。 ・配置予定技術者の資格として2級土木施工管理技士を認めているが金額的な基準があるのか。 ・過去に同様な工事は発注されているのか。あれば、どのような入札状況であったか。 ・高落札率となった原因として総合評価の技術点が高くなることを見越して入札額を高めに入れてきたと推測できるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が現在持っている工事量や他の工事への参加申込み状況、配置予定技術者の確保などを考慮して参加を見合わせたのではないかと考えられる。 ・1億6千万円未満の工事については、2級土木施工管理技士を認めている。 ・過去10年程度に伏木富山港における同様な工事は2件発注されており、いずれも入札参加者は2社であった。 ・積算基準等は既に公表しており、高精度で積算が可能であり、技術点についても自社の配点が算定可能であることから、ご指摘のとおりと考える。
<p>3 工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外）</p> <p>「金沢港（大野地区）防波堤（西）（改良）築造工事（その2）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札者以外の2者の入札額が予定価格に近い額、落札者の落札率も高いように思われるが、このような工事は落札率が高くなる傾向があるのか。 ・結果的に技術点の低い方が落札者となっている。価格との総合評価であり制度的にやむを得ないと思うが、技術的に問題はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準等は既に公表しており、高精度で積算は可能であり、自社の配点が算定可能であることから、バランスを見て入札額を決めているのではないかと考えられる。過去の同様な工事の落札率を見ると89%台といった時もあり一概に高落札率の傾向は見られない。 ・入札に参加している者は、いずれもこれまで当局の工事を受注している企業であり、技術力の低い企業が落札者となったわけではない。
<p>4 建設コンサルタント業務等：建設コンサルタント 一般競争入札方式</p> <p>「敦賀港港内波浪観測業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積算基準等が公表されている状況の中で、入札参加者の内2者が調査基準価格を下回った要因としてどのようなことが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格との金額差を見ると2者共に数万円と小さな金額差となっている。受注意欲からの結果と考えられる。
<p>5 建設コンサルタント業務等：建設コンサルタント 一般競争入札方式</p> <p>「北陸管内設計沖波算定業務」</p>	

意見・質問	回 答
<p>・信頼性が重要視される本業務において、最も技術評価点で高得点を得た企業の入札額が僅かの差で調査基準価格を下回り、その者が追加資料を提出しないため入札無効の措置とされている。この結果について、どのように考えているか。</p> <p>・ルールを定めて入札手続きを実施している以上やむを得ないと思うが、高い技術評価点を得た入札者が僅かな差で調査基準価格を下回り落札できないといった件については、今後検証を行って頂きたい。</p> <p>・国土交通省が全国的に実施している業務とのことだが、いずれもこの3者が競争しあっているということか。</p> <p>・競争参加資格に「業務の主たる部分を再委託するものでないこと」を要件としているが、どのように確認しているのか。</p>	<p>・調査基準価格を下回った入札者に対しては、追加資料を求め確実な履行を確認する必要がある。当該入札を行った者は、この調査基準価格ぎりぎりのところを狙った結果であったと思われる。 技術点において高得点を得た理由は、業務の実施方針を示した提案内容や評価テーマに関する技術提案が評価された結果であった。 入札した3者はいずれも全国的に波の解析や分析を行った実績を持った企業であり技術力を有している。</p> <p>・了解した。</p> <p>・全国的に実施されている設計沖波の推算等の業務に、今回入札に参加した3者に加え他社も入札参加あるいは受注していることを確認している。</p> <p>・入札参加申請時に再委託予定の業務内容や理由等を提出していただき、「主たる部分」を再委託予定としていないかを確認している。 再委託は全てを禁止している訳ではなく、主たる部分の再委託を禁止している。解析業務であれば解析手法の決定等が主たる部分に該当する。</p>
<p>6 役務及び物品：役務の提供等 一般競争入札方式</p> <p>「白山計画修理工事」</p> <p>・本件と同様な発注はいつ頃から行われ、その入札参加者及び受注者に違いはあるか。また、過去からの落札率はどのような状況か。</p>	<p>・本船が建造されて以来、法律に基づいた検査を実施する必要があり、毎年発注している。 入札参加者は過去には3者から4者参加していたが、近年は1者入札が続いている。 落札者の状況は当該船舶の建造者である本件落札者が毎年受注している。 落札率については低い年もあったが概ね95%前後が多い状況となっている。</p> <p>・当該船舶は油回収機能といった特殊な機能を備えた船舶であり、定期修理も技術的に難しいものになっている。そのことが近年1者入札が続いている原因と考えている。 入札参加者を増やし競争性確保を図るため入札参加要件の緩和を図っているが、参加申請が増えないのが現状となっている。</p>

審 議 案 件 詳 細

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式 (WTO以外)	新潟港(西港地区)航路泊地浚渫工 事(その2)	港湾等しゅんせ つ工事	1	1	R1.10.9	(株)本間組	179,300	95.51
一般競争入札方式 (WTO以外)	伏木富山港(新湊地区)泊地(-10m) 土砂運搬工事	港湾土木工事	1	1	R1.10.30	谷内工業(株)	118,250	98.84
一般競争入札方式 (WTO以外)	金沢港(大野地区)防波堤(西)(改 良)築造工事(その2)	港湾土木工事	4	3	R2.3.23	加賀建設(株)	185,900	94.75

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	敦賀港港内波浪観測業務	建設コンサルタント等	4	4 内2者無効	R1.10.31	いであ(株)	20,075	79.47
一般競争入札方式	北陸管内設計沖波算定業務	建設コンサルタント等	3	3 内1者無効	R2.3.24	(株)エコー	37,345	80.03

【役務・物品】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	白山計画修理工事	役務の提供等	1	1	R1.10.3	ジャパンマリンユナイテッド(株)	462,000	99.49